



【演習】グループワーク

# インターバルの整理

## (地域の相談支援体制や協議会について)



かびやパンダ  
令和6年度  
相談支援現任研

社会福祉法人 大乘福祉会  
相談支援事業所フロントライン  
主任相談支援専門員 藤井知佳

TEL:070-7579-9972 MAIL:soudanfrontline@gmail.com

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

1



# インターバルの整理

時刻	時間(分)	内容	やること
15:25~	5	説明	インターバル報告書書式8 (テキストp220)
15:30~	15	個人ワーク	「地域の相談支援体制について」 「(自立支援)協議会について」分かる範囲で記入。
15:45~	30	共有 意見交換	1人2分程度で発表。質問やもう少し訊いて見たいことなどグループ内で意見交換。
16:15~	5	個人ワーク	再度、「インターバル時に行う事」を各自で記入。
16:20~	10	共有	1人1分で「インターバル時に行う事」を発表。FTからコメント。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

2



# ポイント

- ① 自身の地域の相談支援体制や基幹相談支援センターがどのようになっているか整理する。
- ② 自身の地域の協議会がどのようになっているか整理する。
- ③ グループワークで他の地域の状況などを共有する。

※ 前回のインターバル期間で分かったことや、現状で分かっていることを整理して、次回のインターバル期間で参考にすることを検討する。他の地域での取り組みなどを参考にしながら、自分の地域ではどのような状況になっているのか考えてみる。

参考:障害者相談支援従事者  
研修テキスト(現任研)

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

3



## インターバルの整理① 個人ワーク



書式 8

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
-------	--------	-------

インターバル報告書②

**1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会**  
地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されるか)

自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)

インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)

**2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携**  
相談支援体制についてわかったこと(実情や課題など)

自立支援協議会についてわかったこと(実情や課題など)

・今分かっていることを記入

参考:障害者相談支援従事者  
研修テキスト(現任研)

social welfare juridical person

4



# インターバルの整理①

## グループワーク



書式 8

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
-------	--------	-------

### インターバル報告書②

#### 1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会

地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)

自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)

インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)

質問やもう少し訊いてみたいことがあるば、グループ内で意見交換

参考:障害者相談支援従事者研修テキスト(現任研)

#### 2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携

are juridical person

5



# インターバルの整理②



書式 8

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
-------	--------	-------

### インターバル報告書②

#### 1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会

地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)

自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)

インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)

#### 2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携

相談支援体制についてわかったこと(実情や課題など)

具体的な内容を記入していきましょう。  
例えば、基幹相談支援センター等に尋ねてみたいことなど。

- 相談支援部会の参加
- 協議会はどのような内容を協議されているか

参考:障害者相談支援従事者研修テキスト(現任研)

自立支援協議会についてわかったこと(実情や課題など)

I social welfare juridical person

6

# まとめ ふりかえり

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

7



## インターバルで取組む 課題実習の目的

- 相談支援専門員は、経験を積み重ねても自己の振り返りが必要な業務です。
- 研修時に自己の振り返りと他者からの助言・指導を受ける機会をもつ。
- 研修の合間に実地での課題実習として、基幹相談支援センター等に出向いての研修を組み入れることで、研修後も継続して助言等が受けられる場面を作る。



# インターバル期間に 取り組む内容

- ① 演習で整理された支援について具体的にどのようなように行うかの検討、支援を実際に行ってみたことの共有および助言を得る。
- ② 自立支援協議会の部会などに参加し、社会資源など現在の地域の状況を把握する。基幹相談支援センター等で自立支援協議会の実情について学ぶ。

参考:障害者相談支援従事者  
研修テキスト(現任研)

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

9



## インターバル期間中にする事 1 インターバル報告書②

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
インターバル報告書②		
1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会 地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)		
自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)		
インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)		
2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携 相談支援体制についてわかったこと(実情や課題など)		
自立支援協議会についてわかったこと(実情や課題など)		

**ここは記入の必要はありません**

相談支援体制や自立支援協議会について、基幹相談支援センターなどから助言を受ける



調べて分かった実情や課題などについて記入



次回(4日目)の研修で報告し、意見交換を行います

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

10



# インターバル期間中にする事2 市町協議会の役割と社会資源の活用

市町(自立支援)協議会の役割と社会資源の活用

(受講者番号: \_\_\_\_\_ グループ番号: \_\_\_\_\_ 受講者氏名: \_\_\_\_\_)

- あなたが所属している事業所のある市区町について  
(1)状況について、該当欄に記入してください(令和4年3月31日現在、以下同様)  
・身体・知的障害(児)者数及び精神障害者数は手帳所持者数を記入してください。  
・広島市においては「区」単位で記入してください。(以下同様)

基礎数値	市区町	総人口	身体障害児数	知的障害児数	自立支援医療(精神通院)受給者数	高齢者数
			人	人	人	人
			身体障害者数	知的障害者数	精神障害者数	人
			人	人	人	人

- 相談支援の状況について、該当欄に記入してください

①相談支援事業所(カ所数)	一般相談	特定相談	障害児相談	②障害者相談支援事業委託事業所数
	カ所	カ所	カ所	カ所(法人)
③基幹相談支援センター	センターの業務内容/相談支援事業所との連携状況			
	有、無			

- あなたが所属している事業所のある市区町の(自立支援)協議会について  
(1)概要を記入してください。(広島市においては、「区地域部会」を全体会とみなしてください)  
・組織図や要綱、資料を持参される場合は、資料持参と記載してください。

事務局(窓口)※部署又は事業所

---

全体会・部会等の構成メンバー構成(参加事業者等)

や、あなた  
等)  
基礎数  
—  
—  
—  
—  
—  
—  
—  
—  
—  
—

**受講者の所属する事業所のある市区町の協議会の状況を把握することを目的としています。**

- 事前に、インターネットで情報を入手したり、自事業所で協議会へ参加している管理者などに聞くなどしてみましょう。
- 自身の地域にある社会資源をどのように支援に活かすことができるかに加えて、地域に貢献する相談支援専門員として、又は地域の事業所として、どのような「地域づくり」が求められるかという視点でも取り組んでみましょう。

UKUSHIKAI social welfare juridical person



# インターバル期間中にする事3 地域変革のためのヒアリングシート

冊式2

受講者番号: \_\_\_\_\_ 受講者氏名: \_\_\_\_\_

地域変革のためのヒアリングシート(利用者からみた地域の状況)

- テキスト13ページの記入例を参考しながら、記載してください。
- 記載にあたっては、事前課題に取り組んだ利用者を想定し、この利用者が地域とのつながりや、社会関係性等についてわかる範囲で記入してください。不明なところは記入する必要はありません。

- 利用者が参加・所属している地域組織または参加している組織について

組織の名前は?
どの程度の「参加」か?
参加しやすい条件整備がなされているか?
どのような条件が整えば、もっと参加しやすくなるか?

<注> 自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・各種(遠征)講座・ボランティアグループ

- 利用者の交友相手(友達)について

どのような関係の人が
利用者の資源になりうるか
どうしたら資源になるか

<注> 井戸端会議の相手・同級生・趣味友達・講座友達・級友

- 利用者が所属している当事者組織について

どのような組織に属している
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか

**利用者からみた地域資源、地域アセスメントの視点を改めて考察することを目的としています。**

- テキスト13ページの記入例を参考にしながら、記入してください。
- 記載にあたっては、事前課題に取り組んだ利用者を想定し、利用者が地域とのつながりや、社会関係性等について、分かる範囲で記入してください。不明な箇所は記入する必要はありません。
- 改めて、利用者と一緒に地域の社会資源について再考してみてください。

UKUSHIKAI social welfare juridical person



# インターバル期間中にする事4 ストレングアセスメント票への追記

書式3

書き出し【●】本人の言葉  
本人の名前(通称):

【○】家族等の言葉  
グループ・事例提供者氏名:

【・】事実や行動(社会資源)

A 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人・環境	B (未来の)希望・願望・熱望 何がしたいか・何がほしいか	C 過去の資源 どのようなストレングスを 使ってきたか
<p>家・生活環境(住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームに入居</li> <li>・電車やバスなどの利用ができる(スイカは不可)</li> <li>●健康のため駅まで歩いていきます(20分)</li> <li>●休みの日には友人と外食や買い物、母のお見舞いには毎週行っています</li> <li>○共有部分の掃除や自室の掃除は支援員さんと一緒に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分のテラスハウスで一人暮らしがしたい</li> <li>●パソコンがほしい</li> <li>●旅行に行きたい(奈良)。できれば、一人ではなく誰かと一緒に楽しみたい</li> <li>●就労のために資格がほしい</li> <li>●歴史の勉強がしたい</li> <li>●就労移行事業所に通って就職したい</li> <li>●また、バイクに乗って出出をしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父と母と本人の3人で暮らしていた</li> <li>・全寮制の高校で半年生活をし、洗濯などをやっていた</li> <li>・家のことはすべて母親がやってくれていた</li> <li>・バイクに乗っていた</li> </ul>
<p>経済状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金と家賃収入で月20万円程度</li> <li>・後見人が金銭管理をしてくれている(通帳管理と2週間分の生活費、必要に応じて手渡し)</li> <li>・父親が残してくれた預貯金がある</li> <li>・母親にも後見人がついている</li> <li>・就労継続支援B型で月に2万円の収入がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就労して貯金を増やしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルバイトで月10万円もらったことがある</li> <li>●何かほしいものがあるときは母がお金をくれていた</li> </ul>
<p>日中活動(就労、教育、専門知識、通所、通学含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●就労継続支援B型事業所に週5日通っています</li> <li>●学生のときから歴史は好きで、今興味強い</li> <li>・近くにハローワークがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就職するために就労移行事業所に通いたい</li> <li>●自動車の免許がほしい</li> <li>●パソコンが使えるようになりたい</li> <li>●歴史の勉強や考古学を学びたい</li> <li>●母のお見舞いには毎週行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事をしていたことがある(老人ホームや工場、パン屋、など)</li> <li>●一人旅(京都や奈良など)によく行った</li> <li>●旅行の計画を立てるのも好きだった</li> <li>●学校は休まずに行っていた</li> </ul>

- 3日目の研修を振り返り、改めて自身のストレングスアセスメント票に赤字で追記してみてください。
- 日々の相談業務でも、ストレングスを意識したアセスメントや記録は重要になってきます。

UKUSHIKAI social welfare juridical person

13



# ストレングスモデルの 6原則

- ① 人々はリカバリーし、生活を改善し高めることができる。
- ② 焦点は欠陥ではなく、個人のストレングスである。
- ③ クライアントこそが支援過程の監督者である。
- ④ 相談員とクライアントの関係性が根本であり本質である。
- ⑤ 私たちの仕事の主要な場所は地域である。
- ⑥ 地域は資源のオアシスとしてとらえる。



# インターバル期間中の ながれ①

事務局から連絡

「〇〇基幹相談支援センターに、〇〇月〇〇日の〇〇時に連絡を入れてください」と通知があります。

基幹相談支援センター等に書類を郵送

連絡を入れる3日前までに、基幹相談支援センター等に書類【インターバル報告書②（書式8）】が届くように郵送する。

基幹相談支援センター等に訪問し助言を受ける

基幹相談支援センター等に訪問し地域の相談支援体制や協議会などの取り組みについて調べてくる。

「インターバル報告書②」の下段、「市町協議会の役割と社会資源の活用」をまとめる

「インターバル報告書②」「市町協議会の役割と社会資源の活用」について記入。4日目の演習で使用します。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUS



# インターバル期間中の ながれ②

「地域変革のためのヒアリングシート」「ストレングスアセスメント票」に取り組む

テキスト13ページを参考に「地域変革のためのヒアリングシート」を記載。「ストレングスアセスメント票」は、追記などがあれば赤字で行う。

月 日までに  
受講者専用ページに  
課題送信フォームにて  
送信

- ・インターバル報告書①【書式6】
- ・インターバル報告書②【書式8】
- ・市町協議会の役割と社会資源の活用【書式9】
- ・地域変革のためのヒアリングシート【書式2】



# 実習②で取り組む課題

## ○取り組む課題

- ・ インターバル報告書② 【書式 8】
- ・ 市町協議会の役割と社会資源の活用【書式 9】
- ・ 地域変革のためのヒアリングシート【書式 2】
- ・ ストレングスアセスメント票【書式 3】

## ○基幹相談支援センターに送付する書類

- ・ インターバル報告書②【書式 8】

\* 助言を受ける3日前までに届くように、基幹相談支援センターに郵送してください。

## ○事務局へ受講者専用ページに課題送信フォームにて送信する書類

- ・ インターバル報告書①【書式 6】
- ・ インターバル報告書②【書式 8】
- ・ 市町協議会の役割と社会資源の活用【書式 9】
- ・ 地域変革のためのヒアリングシート【書式 2】

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

17

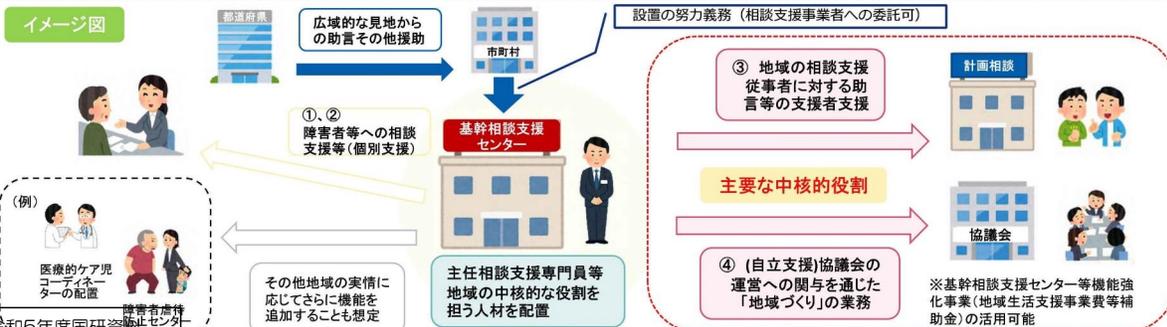


# 基幹相談支援センターと協働していく意義

基幹相談支援センターとは(障害者総合支援法第77条の2第1項)

※令和6年4月1日施行

- 市町村は、基幹相談支援センターを**設置するよう努めるものとする**。(法第77条の2第2項) **新**  
(一般相談支援事業、特定相談支援事業を行うものに対し、業務の実施を委託することができる(同条第3項))
  - **地域における相談支援の中核的な役割を担う機関**として、次に掲げる事業及び業務を**総合的に行うこと**を目的とする**施設**。 ※施設は必ずしも建造物を意味するものではなく、業務を行うための場所のこと。
    - ① 障害者相談支援事業(77条1項3号)・成年後見制度利用支援事業(77条1項4号)
    - ② 他法において市町村が行うとされる障害者等への相談支援の業務  
(身体障害者福祉法9条5項2号及び3号、知的障害者福祉法9条5項2号及び3号、精神保健福祉法49条1項に規定する業務)
  - 新** ③ **地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援**  
(地域における相談支援・障害児相談支援に従事する者に対し、一般相談支援事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業に関する運営について、相談に応じ、必要な助言、指導その他の援助を行う業務)
  - 新** ④ **(自立支援)協議会の運営への関与を通じた「地域づくり」の業務**  
(89条の3第1項に規定する関係機関等の連携の緊密化を**促進する業務**)
- ※ また、**都道府県**は、市町村に対し、基幹相談支援センターの設置の促進及び適切な運営の確保のため、**広域的な見地からの助言その他援助を行うよう努めるもの**とされている。(同条第7項) **新**



18



# 継続的な学習(実地研修)

- インターバルにおいて、基幹相談支援の相談支援専門員と共に実践をふりかえる。
- 実地研修(OJT)を活用し、研修後も継続して助言等を受けることが出来る機会をつくる。
- 自らの実践をふりかえることで、実際の支援においても柔軟に対応できる。

参考:障害者相談支援従事者  
研修テキスト(現任研)

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

19

## 研修のふりかえり

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

20



# 相談援助に求められる多職種連携 及びチームアプローチ

## 【獲得目標】

多職種連携 及びチームアプローチの理論と方法を学び、実践することができる。

## 【科目のねらい】

他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。

障害福祉サービス以外にも介護保険等の制度の枠外の機関やインフォーマルなサービスも含めた多職種連携による支援を、チームアプローチを通して実践する技術を学び、獲得する！

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

21



# 多層的な チームアプローチ

## サービス担当者会議（サービス等利用計画）

本人の意向を確認し、援助方針についてみんなで確認  
相談支援専門員は全体的な旗振り役（多職種との連携）

## 支援会議（個別支援計画）

目標に沿った、より具体的な計画を策定し  
支援していく（事業所内での連携）

## 支援会議 （個別支援 計画）

## 日々の支援

支援会議（個別支援計画）での目標に向けて支援を行っていく  
日々の記録についても、個別支援計画に沿った記入

## 日々の支援

モニタリング

チームアプローチとしての支援の方針  
（総合的な援助の方針）

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

22



# 実践の振り返り

## チームアプローチの視点と意思決定支援

- 本人の周辺にいる人々や地域の関係機関を把握することの必要性の理解
- 本人を中心としたチームアプローチの必要性の理解
- 本人を中心としたチームを構成するための必要な手段
- 本人を中心としたチームのなかでの自分の役割の確認
- チームアプローチを通じた今ある社会資源の活用と新たな社会資源の創出方法

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

23



# 実践の振り返り

## チームアプローチの展開

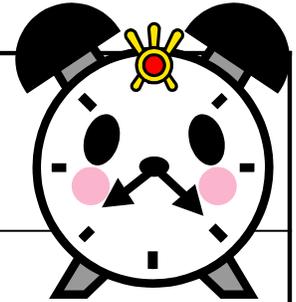
- 支援目標の共通理解を得るための会議の実施
- 支援の経過や本人の満足度、チームアプローチの評価のための会議の実施
- 危機介入や緊急時の支援体制やリスクマネジメント
- 地域資源(地域のなかにあるあたりまえの資源)の活用方法
- 地域を巻き込んだ支援の検討
- 本人の意思を確認しながらチームで関わる

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

24



# タイムテーブル



時間	分	内容
16:40	10分	各自で振り返りシートに記入
16:50	15分	グループ内で共有 ファシリテーターからコメントをお願いします

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

25



# ふりかえりシート

令和4年度 広島県相談支援現任者研修 3日目 振り返りシート

<input type="checkbox"/> 3日目の研修で印象に残ったこと  
<input type="checkbox"/> わかったこと、わからなかったこと <small>(わかったこと)</small>  <small>(わからなかったこと)</small>
<input type="checkbox"/> できそうなこと、できそうでないこと <small>(できそうなこと)</small>  <small>(できそうでないこと)</small>

気づきを整理して今後の実践につなげていきましょう☆

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

26